

# 下野市立国分寺東小学校

## 1 学校課題 「主体的・対話的で深い学び」の実現する授業を目指して

～算数・国語を中心に「学び合いを支える」能力を育てる工夫・改善～

研究主題1年目である今年度は、学習指導要領の改定に伴い、知識や技能の理解・習得に留まらない総合的な能力の獲得・活用を図るためには、指導はどうあるべきか研究を進めてきた。

「全国学力学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」の分析から、自己肯定感がやや低く、条件付きの文章にまとめることに課題があることが分かった。質問紙からは、社会や身の回りで起こっている問題、歴史上の人物や出来事への関心が低く、辞書を用いて学習する習慣が十分身に付いていない実態が明らかになった。また、家庭学習に関する項目から、予習復習をしたり、テストで間違えた問題の勉強をしたりする児童が少なく、ゲームやインターネットを使っている時間が長い児童が固定される傾向も分かってきた。

## 2 研究計画

### (1) 全体研修

- ・研究の目的を明確にし、全職員の共通理解のもとに進める。
- ・授業研究の成果と課題を整理して、次回に生かせるようにする。

### (2) ブロック研修・個人研修

- ・要請訪問やS&Uでの授業研究会は、全職員でファシリテーターを持ち回りする。
- ・校内授業研究はグループで進め、1人1授業を校内の職員に公開する。
- ・メッセージカードや研修だよりにより、相互の意見交換をする。

## 3 研究内容

### (1) 具体策

#### ① 授業研究の充実

- ◎主体的な学びにつながる効果的な導入の工夫
- ◎「対話的」を意識した話合いの編成や観点の工夫
- ◎ねらいの明確化と、振り返り活動の工夫
  - ・1人1授業の実施
  - ・算数の学年内交換授業の実施

#### ② 朝の活動の有効活用

- ・学習タイム（基礎的・基本的な内容の習熟）の実施
- ・読書タイム（物語・説明文）の実施

#### ③ 個に応じた学習活動

- ・補足的、発展的な学習の実施（パワーアップシートの活用）
- ・辞書、本、ICTによる調べ学習の指導

#### ④ ICT機器の効果的な活用

- ・課題の提示、画像での説明、振り返り、作品制作などでの活用
- ・実体験不能な教材のデジタルによる疑似体験
- ・教材として蓄積されたソフト等の活用（教材コンテンツ）

#### ⑤ 指導体制や学習形態の工夫

- ◎目的に適したグループ編成、同じ目的を持つメンバー探し
  - ・少人数指導（TT指導）
  - ・ボランティアの積極的活用

#### ⑥ 家庭学習の習慣化

- ◎家庭と連携した家庭学習の推進（家庭学習カードの工夫）
- ◎学級懇談会の工夫、学年通信での啓発
  - ・家読推進による家庭での読書の習慣化
  - ・親子で学習について話し合う習慣の啓発（学習プリントの活用・行事の感想）

#### ⑦ 小中一貫教育との関連

- ・国分寺中学校区を目指す児童像「学びあい高め合う子ども」を意識した授業の推進

## (2) 研究の実際

日時	内容	学年	研究授業（教科・単元など）	指導者
6/17	第1回要請訪問	3	算数「わり算」	白石孝子先生（市教委）
6/19	1人1授業公開	6	理科「植物のつくりとはたらき」	
7/8	S&U コラボ事業 出前授業	4	算数「式と計算」	立野真一先生 （宇都宮大学附属小）
7/12	1人1授業公開	4	体育「ネット型ゲーム」	
7/17	1人1授業公開	1	道徳 生命の尊さ 「おじいちゃんのたんざく」	
9/6	1人1授業公開	特支	国語「おむすびころりん」	
9/9	1人1授業公開	4	音楽「せんりつと音色」	
9/11	S&U コラボ事業	6	家庭「夏を涼しく」	松本 敏先生（宇都宮大）
9/14	初任研正式訪問	4	理科「とじこめた空気や水」	
10/10	1人1授業公開	2	算数「100より大きい数」	
10/23	S&U コラボ事業 出前授業	3	国語「3年とうげ」	見目真理先生 （宇都宮大学附属小）
11/5	1人1授業公開	2 6	外国語活動「ともさんはどこかな」 外国語「行きたい国クイズを考えよう」	稲葉亜希恵先生 （市教委）
11/13	第2回要請訪問	6	算数「比」	
12/11	S&U コラボ事業	5	算数「割合」	日野圭子先生（宇都宮大）
12/24	1人1授業公開	1	体育「マット運動」	
1/10	1人1授業公開	2	国語「ようすをあらわすことば」	
1/20	1人1授業公開	3	国語「ありの行列」	
1/23	1人1授業公開	5	算数「三角形と四角形の面積」	
1/24	1人1授業公開	ことば	「ガ行音をつくろう」	
1/29	1人1授業公開	4	社会「事故や事件のないまちに」	
2/4	1人1授業公開	特支	国語「かんじのはなし」	
2/18	1人1授業公開	6	保健体育「けがの手当」	

## 4 本年度の成果と課題

### (1) 研究の成果

- ・「主体的」に学習に取り組めるような導入の工夫が推進された。
- ・研究授業では、全員が持ち回りで研究協議を進行することにより主体的に学校課題に取り組むことができた。
- ・「1人1授業公開」や「算数学年内交換授業」等に積極的に取り組み、指導内容の系統性への理解が深まり、授業改善が図られた。
- ・家庭学習強調週間カードや家読りレーの実施により、自主学習に進んで取り組んだり、内容を工夫したりする児童が増えた。
- ・目的に応じた話合いの形態（考えを比較し、共通点を見いだす、記述者と説明者を分ける等）を試行している。
- ・短い時間で対話が深まるような観点の示し方を研究している。

### (2) 今後の課題

- ・授業研究会を中心に、「対話的」「探求的」で「深い学び」の実現を図りたい。
- ・ねらいを明確にし、振り返り活動を視野に入れた授業を進め、指導と評価の一貫性を図りたい。
- ・家庭と連携し、家庭学習の内容充実や生活習慣の改善を図りたい。
- ・更にねらいに迫るための手段として、ICT機器を効果的に活用したい。